

成績評価について

<学生の手引きより抜粋>

成績評価

(1)成績評価は原則として

(注) 同一名称であっても、末尾にI・II/A・B等の記号の付されているものは、それぞれ別の科目として取り扱う。

(2)成績評価は次に挙げる5項目で評価し割合は各教科担当者によって決定される。

評価基準	I 試験・検定	II 提出物	III 授業態度	IV 出席状況	V 外部評価
------	---------	--------	----------	---------	--------

各5項目は主に次に挙げる内容を示す。

I. 試験・検定の項目は前期末及び後期末に行う。

①前期末試験②後期末試験③あらかじめシラバスに示した授業内での小テスト④目標とする資格試験などで示す。

II. 提出物の項目は

①学期末に設定された授業課題②あらかじめシラバスに示した授業内での中間課題③作品の提出④リフレクションカード⑤レポートなどを示す。

III. 授業態度の項目は

①発言・発話・傾聴・理解等、授業への取り組み姿勢②専門知識の習得・理解度③グループディスカッションへの積極的な参加④意欲、関心をもち主体的に授業に参加することなどを示す。

IV. 出席状況の項目は

①授業への出席状況を表す。 ※出席状況については科目ごとに20%～50%の割合で設定される。

V. 外部評価の項目は

①その分野における企業、団体、有識者による評価②実習先、研修先による評価などを示す。

(3)試験

試験は次の4つに分けられる。

①期末試験（前期末・後期末に実施）

②追試験（病気その他やむを得ない事故のため期末試験未受験者に実施）

③再試験（成績不良者に実施）

(4)追試験

公欠・疾病等はやむを得ない事情により期末試験が未受験の者は必要書類（医師の診断書または欠席届）を提出し承認を受ければ、追試験を受験できる。ただし追試験による得点は80点以下とする。

(5)再試験

期末試験が行われた科目においてE評価の者には再試験を行い学習の機会を与える。再試験を受験する場合は、1科目ごとに受験料(1,000円)を納入する。ただし再試験による得点は60点以下とする。

(6)評価基準

成績評価はA、B、C、D、Eの5段階とし、おおよね表一①基準に従って評価する。

表一①

評価点	評価	評価基準	GP (グレード)	成績証明書	成績通知表
100点～90点	A	到達目標を達成しきわめて優秀な成績をおさめている	4	A	A
89点～80点	B	到達目標を達成し、優秀な成績をおさめている	3	B	B
79点～70点	C	到達目標を達成している	2	C	C
69点～60点	D	到達目標を最低限達成している	1	D	D
59点以下	E 単位未認定	到達目標を達成していない 出席率が3分の2未満である	0	記載なし	E
認定		※規定1～2に挙げられた企業研修に参加した場合で出席率が3分の2を超えない科目は単位の認定を行う ※他校より編入した場合、他大学等で修得した単位の認定を行う	対象外	認定	認定

(7)単位の修得

評価がA、B、C、Dの場合は各科目に応じた単位が認定される。

①成績不良者

評価がEの場合は、単位修得を認めない。ただし、再学習や課題提出等がなされ到達目標が達成された場合は単位修得を認める。

②出席不良者

科目出席率が3分の2未満の者は評価点に関らず原則として単位修得を認めない。

(8)成績表

前期末および後期末に4. 成績評価(1)～(4)に準じて評価し、成績表を作成、配布する。